

(167) 栃木県鹿沼市板荷の上都賀(かみつが)鉱山

栃木県の西部には多数のマンガン鉱山が存在していた足尾山塊がある。これについては参考文献(1)が詳しい。今回探査した上都賀鉱山はそれらのマンガン鉱山のうちの一つであり、足尾山塊の東端部に位置しているようである。

参考文献(2)を手引きに、本鉱山の概説を行う：本鉱山は東武日光線の板荷駅から至近の距離にあり、幅広い塊状珪岩中に何条もの路頭の走る鉱床である。・・・整然とした脈状鉱床のようであるが、探鉱には困難多く、そのため幾代もの鉱業家の手に渡っている。・・・鉱石は灰色炭マンで良質であるが、・・・二酸化錳物は露頭付近に限られるが、特に高品位である。・・・

2022年3月

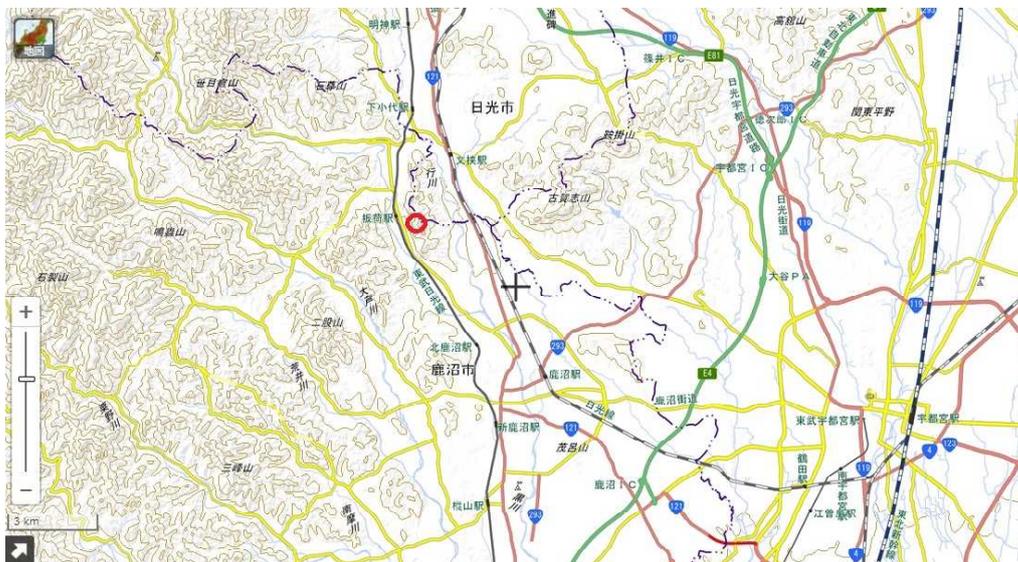


図1 宇都宮から北西に位置している上都賀鉱山を赤輪で示している。東武日光線の板荷駅のごく近い東側に位置している。電車で車でもアクセスは極めて容易である。



図2 図1の部分拡大図。今回の探査を、GPSのガーミンによる経路ログとして、水色曲線で示している。板荷駅には駐車場があり、そこを利用するのも良い。駅から現地沢の入口あたりまで、徒歩で10分から15分。この付近、平地と山の境界線に沿って獣害防止(柵赤破線)が南北に長く伸びている。鉱山のある沢に入るためには、柵にある扉を通り抜ける必要がある。今回、沢に近接しているゲートのある民家を訪れ、来訪の意を伝え、扉を開けてもらった、感謝。黒線分は2段の砂防ダム。黒丸が坑口跡、茶色ベタがズリとプラト。

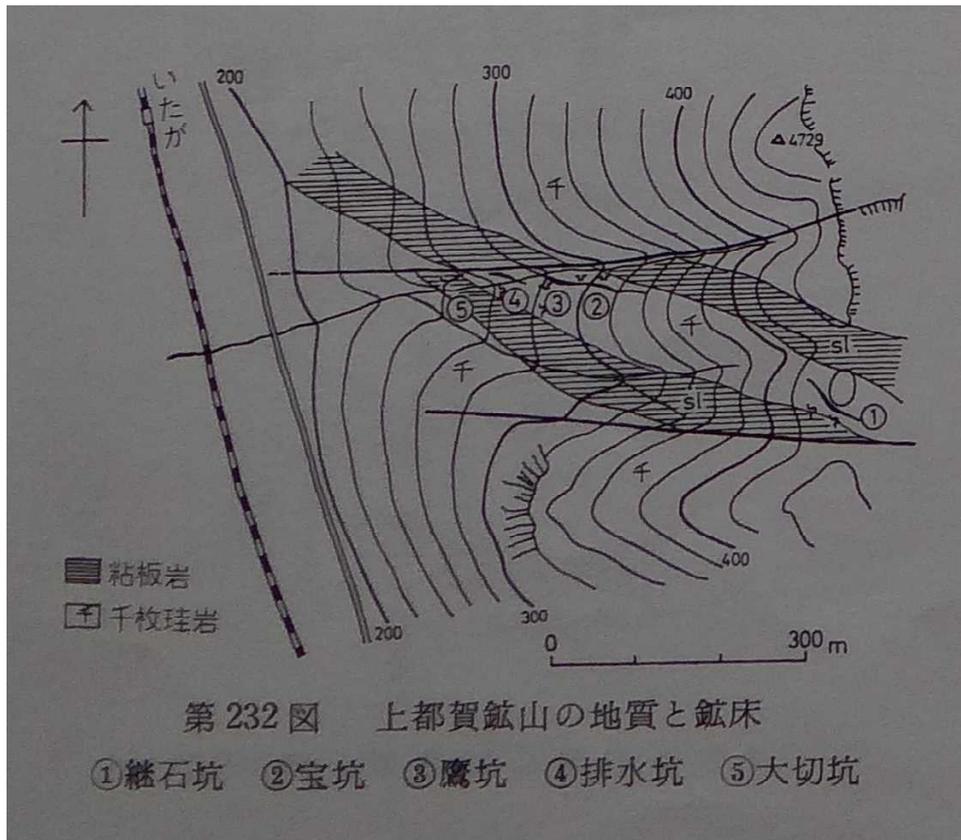


図3 参考文献(2)から複写掲載。現地では谷筋に多くの坑口跡を確認した。図4には多数の坑口が記載されている。どれがどれなのか対応できていない。なを、図4の大切坑の坑口の位置は谷筋からだいぶ離れているが、この図では谷筋にある。

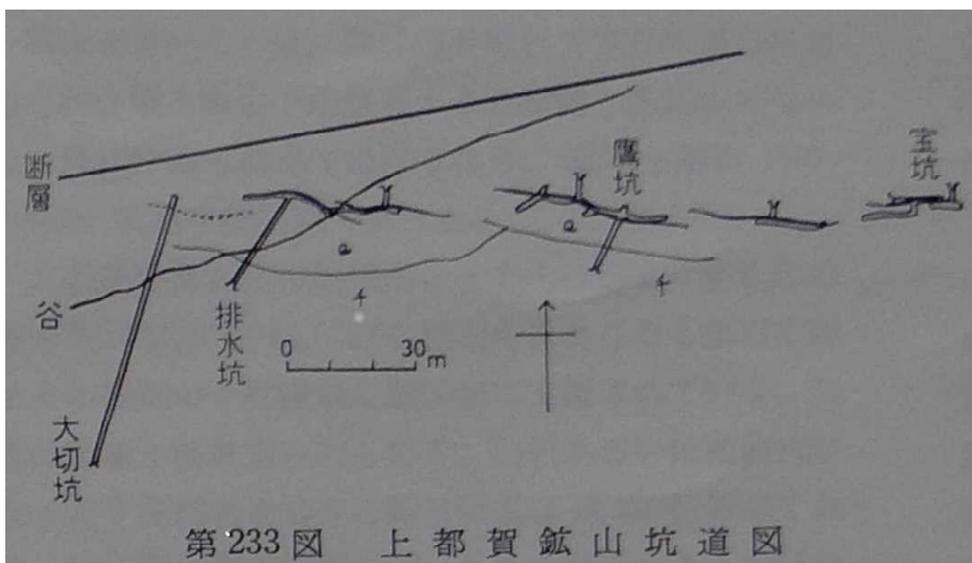


図4 これも参考文献(2)からの複写掲載。多数の坑口が記載されていることがわかる。図3の大切坑と排水溝の位置関係を対照すると、この図4の大切坑は谷筋より大きくずれているのが気にかかる。

鉱山跡写真



写真1 宅地内にある獣害防止柵のゲートを開けていただいた。指さしている方向に目指している沢がある。ご厚意に感謝。



写真2 沢の幅は広いが、結構急斜面。前方に最初の砂防ダムが見えている。



写真3 2段目の砂防ダムの上にあったズリとプラトー。



写真4 沢沿いに排水溝と思われる坑口入り口。



写真5 その入り口から内部を覗く。



写真6 更に上流にあった坑口跡。鷹坑か？



写真7 その内部の様子。



写真8 写真6、7で示した坑口のさらに上の方にあった坑口跡。



写真9 その内部の様子。



写真10 今回の探査で最上流部にあった坑口跡。②宝坑と思われるが。



写真11 それを入り口から内部を覗く。内部の崩落があるが、入り口から直ぐに極めて大規模に掘られていた。



写真12 写真10、11で示した坑口跡の入り口右側に石英を伴う露頭鉍脈を確認。写真中央部の上下の白斑部分。

参考文献

- (1) 「日本地方鉍床誌 関東地方」、今井、河井、宮沢、朝倉書店、昭和48年。
- (2) 「日本のマンガン鉍床補遺 後編」、吉村豊文、吉村豊文教授記念事業会、昭和44年。